■ 都市型貸し菜園事業 ／ 「遊休資産」を活用した事業の流れ

[現状の課題]
- 税金がかかる
- 雑草管理が必要
- 無管理で治安が不安
- 集客力をアップしたい

菜園化で問題解決 →

- 税金、除草費の削減
- 環境、景観向上
- ＣＳＲ活動の実践
- 集客力の向上

＜事業フロー＞

調査･契約（約1ヶ月）	工事･募集（約2ヶ月）	開　園	撤去・返納
用地･収支の検討	区画造成工事	利用者による各区画の菜園作業	期間満了の際は原状復旧のうえ返納致します。
賃貸借の契約	利用者の募集	スタッフの栽培管理サポート	
		スクール･イベント開催	

■ 参考情報

[都市部における未利用地の面積]
－東京の土地利用　平成 18 年東京都区部－

東京都が土地利用の現況を把握するため、5 年ごとに実施している調査結果によると、23 区における未利用地は、東京ドーム 428 個分の 1,958ha にのぼっています。

関連アドレス：http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2008/05/60i5k100.htm

[貸し農園を希望する人口]
－レジャー白書 2008 「選択投資型余暇」の時代－

財団法人社会経済生産性本部が、全国 15 歳以上 3,000 人を対象に行う余暇活動実態調査の結果などを取りまとめた「レジャー白書 2008」によると、貸し農園（市民農園など）の参加人口は 200 万人、参加希望者人口 820 万人（市場規模：350 億円／潜在市場規模 1,450 億円）となっており、野菜づくりを楽しめる機会を提供することで参加人口はますます増えるものと思われます。

関連アドレス：http://activity.jpc-net.jp/detail/01.data/activity000871.html
http://activity.jpc-net.jp/detail/01.data/activity000871/attached2.pdf